

活動名称 (40字以内)	「クリケット」を通じて世界を知ろう！ ～クリケットを通じた国際交流～																		
団体名等	Localeyes合同会社+「Cricketry2023」実行委員会																		
活動区分	<input type="checkbox"/> ボランティアなどの社会貢献活動	選考方法	<input checked="" type="checkbox"/> 先着順																
	<input checked="" type="checkbox"/> 国際交流体験活動		<input type="checkbox"/> 書類審査																
	<input type="checkbox"/> 就労体験活動	募集人数	<input type="checkbox"/> 面接																
	<input type="checkbox"/> 農林水産業・地域体験活動		5～10 人																
	<input type="checkbox"/> フィールドワーク体験活動																		
<input type="checkbox"/> 研究室体験活動																			
活動方法	<input checked="" type="checkbox"/> オンラインを活用しつつ現地活動を行う <input type="checkbox"/> オンラインのみで活動を行う																		
大学院学生	<input checked="" type="checkbox"/> 含む <input type="checkbox"/> 含まない																		
参加資格等	学部学生及び大学院学生(スポーツ経験などは問いません)																		
活動期間	2023年9月 ～ 2023年12月 4日程、いずれも日帰り	主な活動予定場所	昨年度例①④大宮けんぽグラウンド ②③都内(レストラン等屋内)																
目的	<p>現在、日本では南アジア出身の就労者がここ5年間で約2倍に増えていますが、彼らと共に生きる社会を目指すためには、その多様性を理解し認めていくことが重要となります。</p> <p>「クリケット」はサッカーに次ぐ世界第2位の競技人口を誇り、主に旧英連邦で非常に人気の高いスポーツです。</p> <p>特に経済的にも伸長著しいインドでは至る所にクリケットを楽しめる施設があり、彼らにとっては大事なコミュニケーションツールです。また、インドのトッププレイヤーの年収が30億円を超えることもあり、インドの子供達だけでなく世界中のアスリートがこの競技での活躍を夢見ている。</p> <p>2028年のロサンゼルスオリンピックからオリンピック競技に復帰する、ということも検討されており、スポーツとしても目が離せません。</p> <p>また、ビジネス面においても、今後巨大なマーケットとなると目されるインド市場に対して、セブンイレブン、ユニクロ、無印良品など様々な日本企業が参入を始めていますし、日本のIT企業ではインド人技術者は欠かせない人材となっています。</p> <p>近い将来、皆さんにとっては彼らとコミュニケーションを図る機会がどんどん増えると思いますが、そんなとき「クリケットを知っていること」は相当なアドバンテージになることと思います。</p> <p>是非、「クリケット」を通じた国際交流を図ってみましょう！</p>																		
具体的な内容 (800字程度)	<p>■活動内容■(昨年度のプログラム例)</p> <p>①「クリケット」体験会を通じた基本講座 ※「Cricketry2022」の一般参加者と合同開催</p> <p>②③海外クリケット映像を見ながらの「クリケットの楽しみ方講座」と、在京外国人クリケット愛好家コミュニティとの交流会 ※元プロ野球選手でクリケット日本代表にもなった木村昇吾選手と一緒に、海外のクリケットの映像(2022秋にオーストラリアで開催されるクリケットW杯のパブリックビューイング)を見ながら「クリケットの楽しみ方」を教わるとともに、インド、バングラデシュ、スリランカなど南アジア出身の在京クリケットコミュニティと交流会を開催します。特に②の日程では、全世界で10億人が観戦するとも言われている一大イベント「インドVSパキスタン」戦を、西葛西や西大島など在京インド人の多いエリアで一緒に観戦します。)</p> <p>④「クリケット」ミニゲームを通じたクリケット体験 ※「Cricketry2022」の一般参加者と合同開催</p> <p>【備考】コロナウィルス等の状況にもよりますが、クリケットU19W杯の東アジア太平洋予選、クリケットW杯の同予選が開催予定があり、任意参加ですがスケジュールに組み込まれる可能性があります。</p> <p>現地活動を予定しています。コロナウィルス感染状況により、直前に実施中止となる可能性があります。</p>																		
備考																			
参加するための費用*	内 訳(1名当たり)	その他*特記事項は以下に記載																	
	<table border="1"> <tr> <td>交通費</td> <td>実費</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>宿泊費</td> <td></td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>食費</td> <td>5,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>参加費</td> <td>5,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>10,000</td> <td>円</td> </tr> </table>	交通費	実費	円	宿泊費		円	食費	5,000	円	参加費	5,000	円	計	10,000	円	<table border="1"> <tr> <td>奨励金額</td> <td>2,000円(予定)</td> </tr> </table>		奨励金額
交通費	実費	円																	
宿泊費		円																	
食費	5,000	円																	
参加費	5,000	円																	
計	10,000	円																	
奨励金額	2,000円(予定)																		
ウェブサイト等	<p>※昨年開催された「Cricketry 2020」の様子が分かる動画です。当日はクリケット日本代表で元プロ野球選手の「木村昇吾選手」、イギリス時代にクリケット経験のある「ハリー杉山さん」も参加されました。  <a href="https://www.youtube.com/watch?v=iip05CXTBLI">https://www.youtube.com/watch?v=iip05CXTBLI</a></p> <p>※こちらの「入門ブック」に目を通して頂ければクリケットへの理解が早まります。  <a href="https://sano-cricket.net/catalog/">https://sano-cricket.net/catalog/</a></p>																		